

岐阜市教育員会学校指導課だより

# ICT瓦版

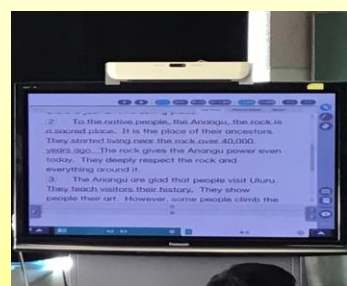
～三輪中学校～



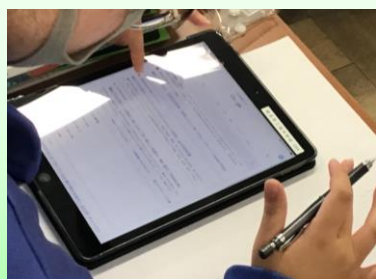
子ども達に、中学校生活のゴール『自分にとっての最高の進路選択（卒業後、どう生きていくのか）』を示し、その実現のために、『生徒の主体性を育む』を合言葉に先生方が生徒を支えている三輪中学校。今回訪問をさせていただき、「自分たちはこうありたい」という願いをもち、自治的に活動を進めている生徒会、それを認め、考える場を与え、判断を見守っていらっしゃる先生方の姿に、『生徒の主体性を育む』に向かって確実に歩みを進めている様子を感じられました。

どの教室の授業も、落ち着いた雰囲気の中で、和やかに学習が進められていました。教師の発問に真っすぐ腕を伸ばして挙手をする姿、小グループでの交流場面では、男女関係なく声を掛け合って解き方を学び合う姿など、心温まる素敵な姿がみられました。先生方が笑顔で穏やかな語り掛けをされ、また生徒の声を丁寧に聞き取ったりして、生徒との関係づくりを進めている日々の積み重ねが、こうした生徒の姿につながっているのだと思います。

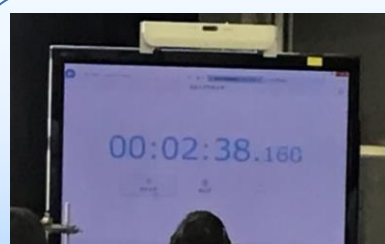
また、子どもたちの学習を支える道具として、日頃から積極的にICTを活用して授業を展開されている様子が伺えました。



**デジタル教科書の活用や資料の拡大提示：**多くの授業で、教科書の本文や資料画像、生徒に考えさせたい問題等を拡大して映し出して、授業が行われていました。



**タブレットの活用：**国語科の授業では、iPadを使って、個人で言葉の意味を調べていました。その内容を再構成して画用紙にまとめる学習が行われていました。



**学習の記録：**理科の授業では、タイマー機能を活用して時間の把握ができるように工夫がされていました。

子どもたちに一人1台タブレット端末が貸与されました。タブレットという学習道具が増えたことにより、授業の進め方をさらに工夫できる可能性が広がりました。また、子どもたちが主体的にICTを活用して、学習を深めていくことも考えられます。ICTを効果的に活用することで、子どもたちにとって、より楽しく、また学んだ喜びを実感できる授業が展開されることを期待しています。